

令和6年2月15日

お知らせ

課名	新エネルギー・温暖化対策室
担当	濱田・山本
内線	3052・3046
直通	086-226-7298

岡山県地球温暖化対策実行計画（令和5（2023）年3月改定）の 進捗状況を取りまとめました

岡山県地球温暖化対策実行計画の進捗状況について、令和3（2021）年度の県内の温室効果ガス排出量（速報値）を取りまとめましたので、お知らせします。

1 計画の概要

（1）期間 平成23（2011）年度～令和12（2030）年度

（2）県内の温室効果ガス排出量の削減目標

令和12（2030）年度に平成25（2013）年度比で39.3%削減

2 県内の温室効果ガス排出量の状況

（1）総括

区分 (単位：万t-CO ₂)	基準年度 H25年度 (2013)	<速報値>		R2年度 (2020)	基準年度比 増減率
		R3年度 (2021)	基準年度比 増減率		
温室効果ガス 排出量	5,217	4,031	△22.7%	3,788	△27.4%
吸収量		△91		△88	
総合計	5,217	3,941	△24.5%	3,700	△29.1%
全国<確報値> (単位：百万t-CO ₂)	1,408	1,122	△20.3%	1,101	△21.8%

排出量の総合計が基準年度（平成25（2013）年度）と比べて**24.5%削減**
前年度（令和2（2020）年度）と比べて**6.5%増加**

排出量は、省エネの進展や再エネの拡大により、基準年度からは減少傾向にあるが、前年度（2020年度）からは増加した。この要因は、新型コロナウイルス感染症の影響から経済活動が回復し、約6割を占める産業部門からの排出量が増加したためと考えられる。

(2) 部門別排出量

区分 (単位:万 t-CO ₂)	基準年度 H25 年度 (2013)	<速報値>				全国の 構成割合	
		R3年度 (2021)	基準年度比 増減率	2030 年度 目標削減率	構成 割合		
二 酸 化 炭 素	産業部門	3,202	2,286	△28.6%	△32.4%	56.7%	31.9%
	製造業	3,165	2,251	△28.9%	—	55.8%	—
	民生部門	759	539	△28.9%	—	13.4%	29.6%
	家庭	386	256	△33.6%	△66.3%	6.4%	13.3%
	業務	373	283	△24.1%	△51.3%	7.0%	16.2%
	運輸部門	445	365	△18.0%	△34.8%	9.1%	15.8%
	自動車	387	321	△17.0%	—	8.0%	—
	エネルギー転換	456	533	16.9%	△46.1%	13.2%	7.2%
	工業プロセス	136	113	△16.9%	△32.6%	2.8%	3.7%
	廃棄物部門	99	50	△49.8%		1.2%	2.6%
	計	5,097	3,886	△23.8%	△37.8%	96.4%	90.9%
	メタン	41	37	△8.6%	△11.0%	0.9%	2.3%
	一酸化二窒素	25	24	△4.6%	△16.8%	0.6%	1.7%
代替フロン類	54	85	56.6%	△44.2%	2.1%	5.1%	
合計	5,217	4,031	△22.7%	△37.6%	100.0%	100.0%	

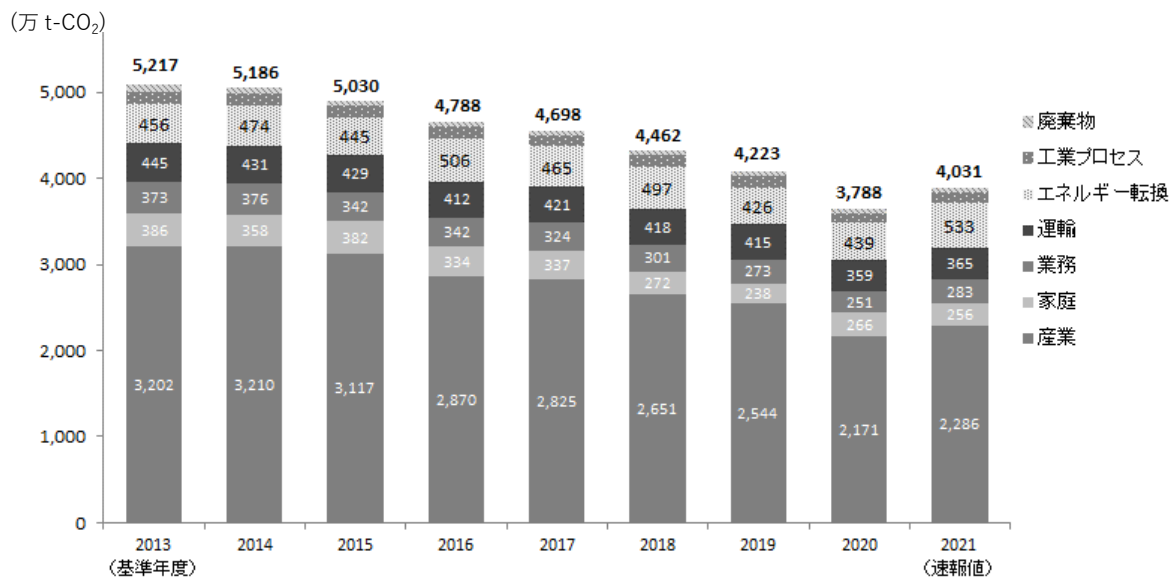
※令和 3 (2021) 年度値は暫定値として公表されている都道府県別エネルギー消費統計等の数値を用いて算定した。
桁数処理の関係で合計・比率等の計算が合わない場合がある。

3 計画の方向性 I ~ IV に掲げる主な指標の進捗状況

主な指標	基準年度 H25 (2013)	現況 R4 (2022)	目標年度 R12 (2030)
方向性 I 強みを活かした脱炭素社会の構築			
次世代自動車 (EV, PHEV, FCV) の保有台数	1,944 台	9,502 台	36,000 台
方向性 II 経済成長と環境負荷低減の両立			
循環型産業・脱炭素関連の新技术・新製品の研究開発等への支援件数 (累計)	34 件	96 件	162 件
方向性 III 再生可能エネルギーの普及拡大			
再生可能エネルギー導入率 (※)	6.1%	22.6%	27.9%
方向性 IV 県民総参加による取組の推進			
アースキーパーメンバーシップ会員数 (人・事業所)	10,881	15,165	19,000

※令和 3 (2021) 年度の値

参考1 温室効果ガス排出量の年度推移（単位：万 t-CO₂）



参考2 主要4部門の二酸化炭素排出量の年度推移（平成25(2013)年度を100とする）

